

厚年本体の平成22年度 運用実績(弊社推計値)について

対象先	DB年金	厚年基金	適格年金	退職金	その他
内容	法令通知	財政運営	資産運用	会計基準	その他

ご参考にDB年金のお客様にも送付させていただきます。

ポイント

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの厚年本体における運用利回りは、0.3%と推計されます。(弊社推計値)

平成23年4月時点での弊社の推計値です。実際の厚生年金保険本体の運用利回りとは異なる場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

厚年基金への影響

下線部が該当箇所

H23.3.31

	H21年度	H22年度	1年9ヶ月の期ズレ		
最低責任準備金 (継続基準)	7.54%	<u>0.3%</u>			
最低責任準備金 ¹	H20年 3.10%	H21年 3.54%			
	H22年 6.83%		7.54%	<u>0.3%</u>	
回復(健全化)計画上 の最低責任準備金 (H22年度決算使用値)			H23年(暦年)	H24年(暦年)	H25年以降
			7.54%	<u>0.3%</u>	<u>0.0%</u> ^{2, 3}

1 非継続基準等に使用

2 前年度決算使用値は1.42%

3 回復計画上の最低責任準備金の付利率の算定方法については、次頁ご参照

回復計画上の最低責任準備金の付利率の算定方法について

- ✓ 回復計画策定上の最低責任準備金の予測に使用する付利率は、次の **か** のいずれか小さい率を下回らないこととされている。

利用可能な厚生年金本体の直近5年の運用実績の平均値

ただし、当該平均値がゼロを下回る場合は、当該実績値に基づき合理的に見込まれる率を使用する

厚年本体の財政上の利回りの前提(平成25年1.92%、平成26年以降2.03%～4.10%)

今回の推計値 0.3%を使用すると「利用可能な厚生年金本体の直近5年の運用実績の平均値」は「0.01%」と推計されますが、回復計画上においてマイナス利回りを前提とすることは合理的とは言えない可能性があり、前頁の「回復(健全化)計画上の最低責任準備金」の予測値は「0.0%」としています。(今後行政照会予定)

また、確定値の結果によっては「利用可能な厚生年金本体の直近5年の運用実績の平均値」がマイナスとならないことも考えられます。

厚年本体運用実績の推計方法

厚生労働省「平成21年度年金積立金運用報告書」、年金積立金管理運用独立行政法人「平成21年度業務概況書」、年金積立金管理運用独立行政法人HPより

	内容	推計方法
市場運用分	年金積立金管理運用独立行政法人による市場運用。	第3四半期までは公表値。 第4四半期はベンチマーク収益率に基づき推計。
財投債引受け分	年金積立金管理運用独立行政法人による財投債運用(既引受分のみ)。	過去の発行実績を基に全額満期まで保有する前提で推計。

以上